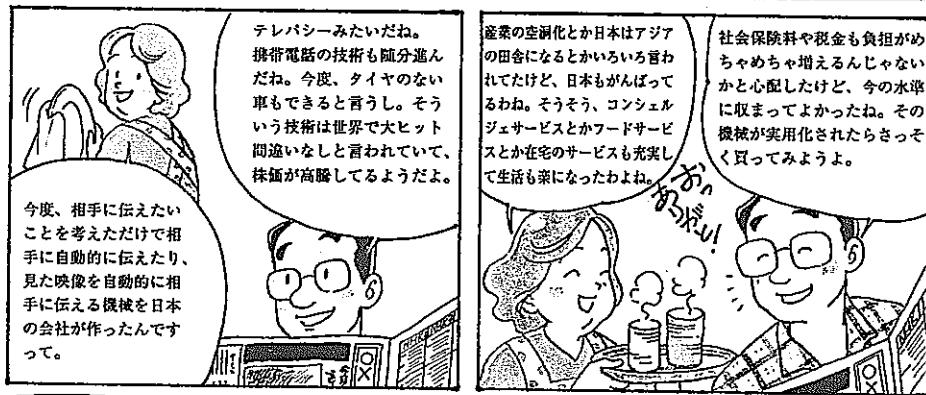


第3部 2025年の家族の会話

1. 社会経済

1-1 経済・暮らしぶり

技術革新の進展や新しい財・サービスの開発に伴う消費需要の掘り起こし、女性や高齢者の労働力化等により、少子高齢化の中にあっても経済が安定的に成長し、国際競争力も向上。社会保障負担も適正な増加幅になるなど、暮らしぶりは現行水準を維持。所得格差はそれほど拡大せず、犯罪も現行水準を維持。



話題シナリオ

労働力の減少や高齢化による消費需要の低下から経済が低迷。産業の空洞化や大幅な円安が進行し、輸入品・海外旅行が高額の花に。社会保障負担の増大等により、暮らしが厳しくなる。低所得者の増加や所得格差が拡大し、犯罪が増加。



2. 育児支援

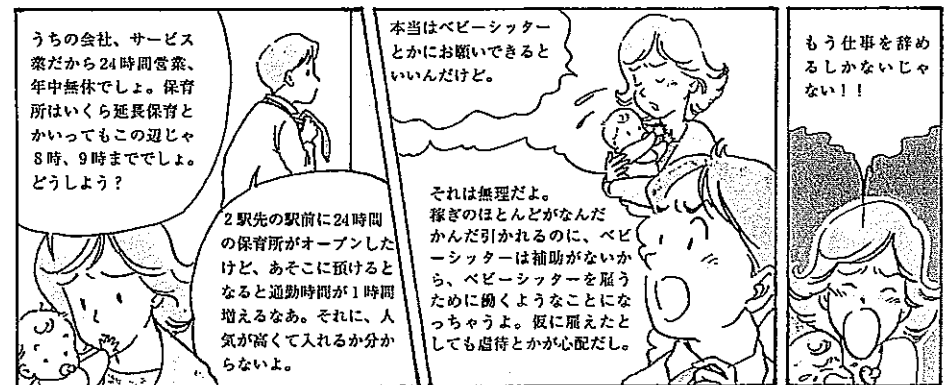
2-1 多様な保育サービスの充実

延長保育を利用できる保護者が増えるとともに、在宅での良質な保育サービスも充実し、多様なライフスタイルに柔軟に対応。



一般的イメージ

延長保育は増えるが、就業時間の多様化に十分な対応ができない状態。遠方の長時間保育を行う保育所に送り迎えをする親が増加。



2-2 子どもの病気時の保育

子どもの病気時に良質な保育を行うサービスが充実。



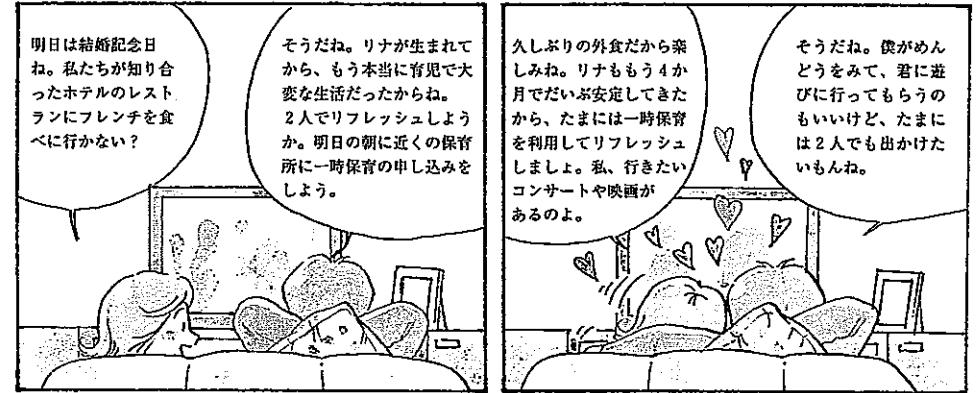
一般的イメージ

子どもの病気が長引くと長期間の休暇を取らざるをえない状況に。場合によっては退職しなければならないことも。



2-3 リフレッシュなどのための保育の充実

リフレッシュなどのために子どもを預けることが可能となり、子どもを持つ親の生活に明るさが出る。



一般的イメージ

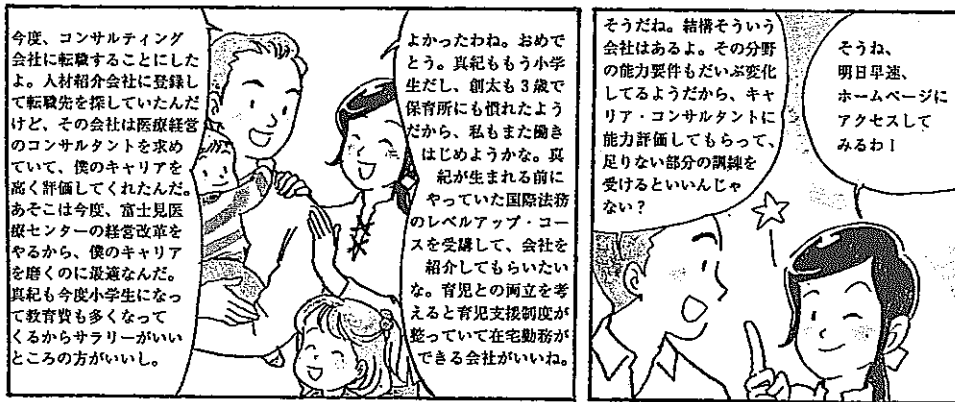
女性は子育てに追われて全く自由な時間がなく、育児ノイローゼになる人も存在。その状況を嫌う人が増加し、ますます晩婚化が進行。



3. 働き方

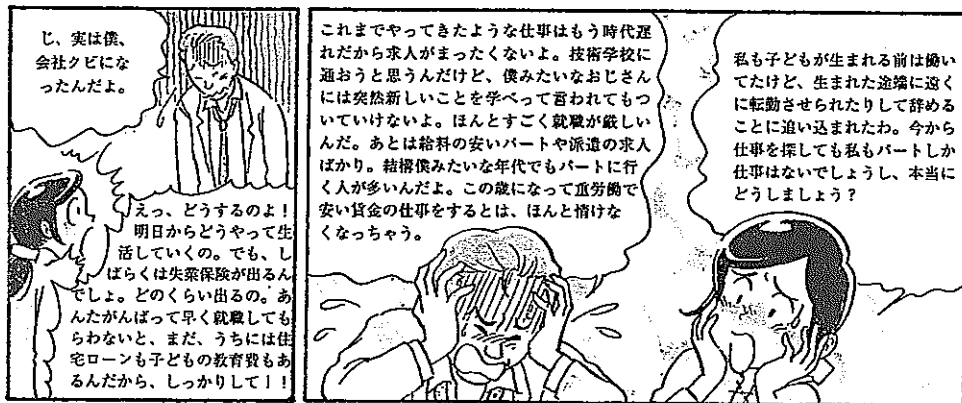
3-1 就職・就業形態

労働市場が整備され再就職や労働移動が円滑に。専門的な能力を有し、企業間を渡り歩く労働者が増加。出産・育児の環境や労働市場が整備され、女性の就職も進む。



最悪シナリオ

労働市場が未整備で再就職が困難。特に技術革新等によりミスマッチが拡大。出産・育児の環境が整わず、女性の就職も進まない。低賃金・不安定雇用のパート労働者や派遣労働者が増加。



3-2 就業に対する意識

インターンシップの定着など若年者への職業意識の啓発支援が効果を上げ、学校から職業への移行がスムーズに。



一般的イメージ

社会保障負担増から勤労意欲低下。若年者の職業意識の希薄化がますます進み若年の高失業化が拡大。



4. 高齢者の暮らし

4-1 高齢者の再就職

高齢者も、貴重な労働力としてそれまで長年築きあげてきたキャリアを活かした仕事をするのが容易に。



最悪シナリオ

高齢者の再就職は単純労働が主流。多少なりとも長年のキャリアを活かせそうな求人には多くの高齢者が殺到し、なかなかやりがいのある仕事に就くことができない。



4-2 高齢者の社会参加

定年などで退職した人も、専業主婦（夫）も、高齢期ならではのさまざまな形の社会参加の道がある。



一般的イメージ

定年などで会社勤めを辞めたたん、社会との接点がなくなってしまい、自分の経験や知識を人に伝える機会もなくなる。

